

(*D. filiman* ニハ既ニ知ラレテ居ルガ)。カ、ル腺ハ各種ノ羊齒ニ見ラレルデアラウガ、之ヲ如何ニ利用スルカモ興味アル問題デアルマイカ。恐ラク此存否、形狀等ハ鱗毛上ノモノト共ニ種ノ記載中ニ並記セラルベキモノデアラウ。マタ余ハ腺毛ト言ヒマタ腺ト言ツタガ實ハ言明シ兼ネルカラデアル、然シ組織中ニ存スルモノカラ考ヘレバ腺細胞トデモ言ヒタイ。

之ヲ要スルニ、みやまゐるのでニ於テハ幼芽ノ解舒展開セザル時期ニ於テハ鱗片上ニ腺ノ存スル事ハ確實デ、成葉上ノ鱗片ニ見エナクナルノミナラズ脱落シタ痕跡サヘ判ラナクナル。然シテ其存否ハ種ノ特徴トモ思ヘナイガ其形狀ニ就テハ追考ヲ要スル。マタクまわらび、おくまわらび、べにしだ、いたちしだ(ひめわらび、はりがねわらびニハ見エナイ)ナドニモ之ヲ認メル。更ニくまわらび(他ノモノハマダ見ナイ)デハ葉柄ノ組織中ニモ之ヲ認メタ。餘計ナコトヲシテ羊齒ノ取扱フ厄介ニシタ事ハ充分後悔シテ居ルガ恐ラク *Dryopteris* ノ或一群ニ物言ヒヲツケル結果ニナルノデアラウ、イヅレマタ其内ニ。

北出雲植物小話 (其一)

林 實

M. HAYASHI: Miscellaneous topics of Flora in Northern Idumo (I)

神代時代ニ文化ノ最モ榮エテ居タ出雲地方モ植物相ノ究明ニカケテハ非常ニ立遅レテ世間カラ顧ラズニ來マシタノデ淺學ヲ百モ承知ノ上微力ヲ私ノ採集シタ物ノ中珍シイ物ヤ珍シクナイ物ヤ? 下手ナ寫眞ヲ混ゼテ御紹介致シマス。少シデモ出雲ノ植物ニ對シテ皆様ニ御關心ヲ持ツテ頂ケマスレバ幸甚ニ存ジマス。又諸先生ヲ始メ同好諸氏ノ御示教ヲ切ニ御願ヒ申シ上ゲマス。

尙植物ノ檢定並ニ色々ト御指導戴イタ東大ノ前川文夫學士、京大ノ大井次三郎・北村四郎・田川基二ノ諸學士ニ對シ誌上ヲ以テ厚ク謝意ヲ表シテ置キマス。

1. たきみしだ *Anthrophyum japonicum* MAKINO (田川學士檢定)

明治十九年ノ春、土佐國高岡郡上分村樽瀧ニ牧野先生ガ發見サレテカラ久シイ間珍シイ物ノーツデアツタガ、近年デハ本州南部ニ廣ク分布スル事ガ分ツテ

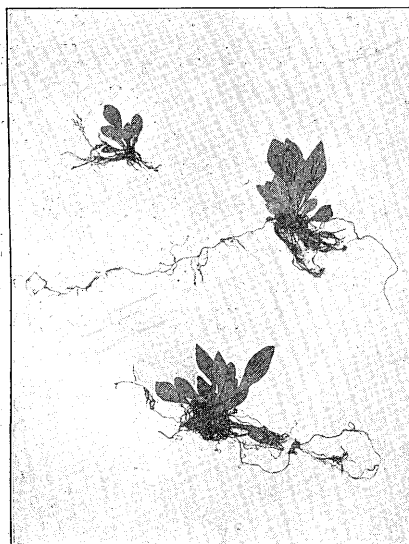


Fig. 1. たきみしだ
Antrophyum japonicum MAKINO.

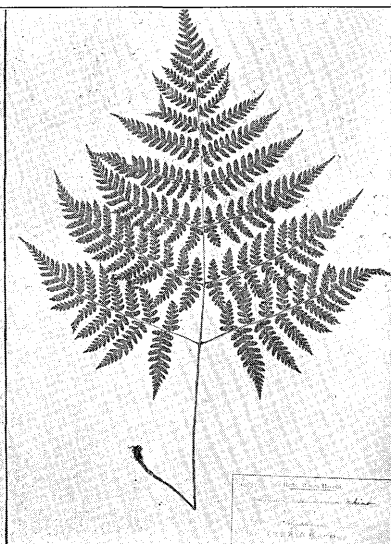


Fig. 2. ひかげわらび
Diplazium Naganumanum MAKINO.

來テ太平洋岸デハ伊豆邊迄産スル様デアアルガ日本海沿岸デハ餘リ知ラレテ居ナイ。田川學士ニ依ルト越前國ニ産スルトノコトデアツテ福井縣生物目録(1933)ニモ本種ノ唯一ノ產地トシテ吉田郡岡保ガ舉ゲラレテ居ルノヲ見テモ分ル。私ハ 1934 年 3 月 27 日八東郡意東村デ本種ヲ採集シタノデ寫眞ニ撮ツテ此處ニ報告致ス次第デス。同地ノ岩上ニ唯七株シカ在リマセンデシタノデ私ハ根絶ヲ懼レテ未ダ囊堆ノ生ゼヌ二株ダケハ殘シテ置キマシタ。尚瀬戸内ノ播磨ニモ産スル由ヲ田川學士ヨリオ聞キシテ居マス。

2. ひかげわらび *Diplazium Naganumanum* MAKINO (田川學士檢定)

本種ハ暖イ地方ノ四國・九州邊ニ多イ 羊齒デスガ太平洋岸デハ随分ト北上シテ栃木縣ガ其ノ北限デアアル事ハ、既ニ本誌 XI, p. 47 (1934) ニ岡本平八氏ガ記サレテ居ルノデ分リマスガ之ニ反シテ日本海方面デハ未ダ知ラレズ、現在ノ處當北出雲ガソノ北限ノ様ニ思ハレマスノデ私ガ簸川郡鰐淵村鰐淵寺デ 1933 年 8 月 20 日採集ノ標本ヲ御示シテ置キマス。

3. じふもんじしだノ異形 *Polystichum tripterum* PRESL. ab.

じふもんじしだノ一型ニ最下羽片ノ縮小シタひとつばじふもんじしだ (*Polystichum tripterum* var. *simplicissimum* TAGAWA) ガアリ、之ガ當北出雲ニ産スル事ハ本誌 X, p. 333 (1934) 上ニ私ガ報告シテ置イタノデスガ此處ニソレト

反對ナ一型ヲ御目ニ掛ケマス。之ハ 1935 年 7 月 15 日有名ナ出雲大社ノ在ル大社町ノ西方デ見附ケタモノデひとつばじふもんじしだハ其ノ最下羽片ガ非常ニ短縮シテ居ルノニ反シテ之ハ其ノ最下羽片ガ良ク發達シテ居マス。即チ最下兩出羽片ノ下方第一羽片ハ長ク延ビテ更ニ小羽片ヲ著ケ、又第二側羽片モ發達シテ小葉ヲ著ケテ居ル邊ハ中々上手ニ化ケタモノデアリマス。寫眞ト之ダケノ説明デハドウシテモ變種ニテモ成リサウデスガ早マツテハ大變デ此ハ正常ナじふもんじしだノ一株中ニ唯一葉ダケ變化シテ居タモノデアリマスカラ先ツ化物(異形)トシテ置カネバナリマスマイ。然シコンナ傾向ハ多分ニアル様デスカラ野外デモツトヨク觀察シ標本モ多數得タ上デ専門家ノ門ヲ叩ク事ニシマセウ。因ツテ解決ハ將來ニ持チ越ス事ニナリマス。

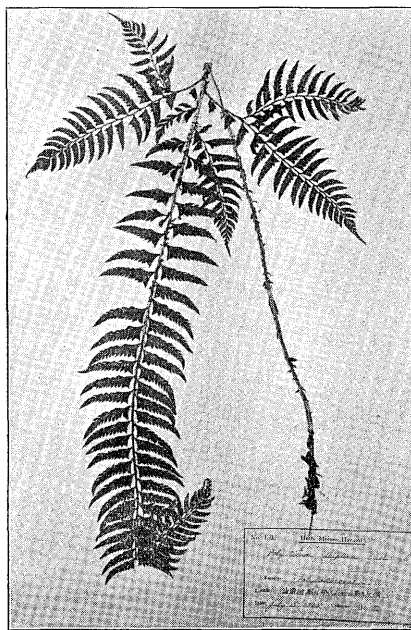


Fig. 3. じふもんじしだノ異形
Polystichum tripterum PRESL. ab.

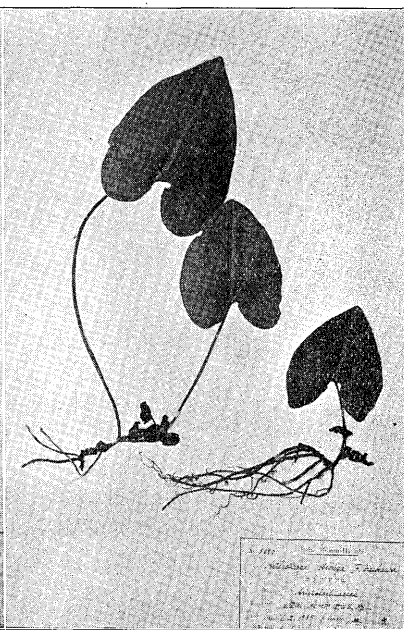
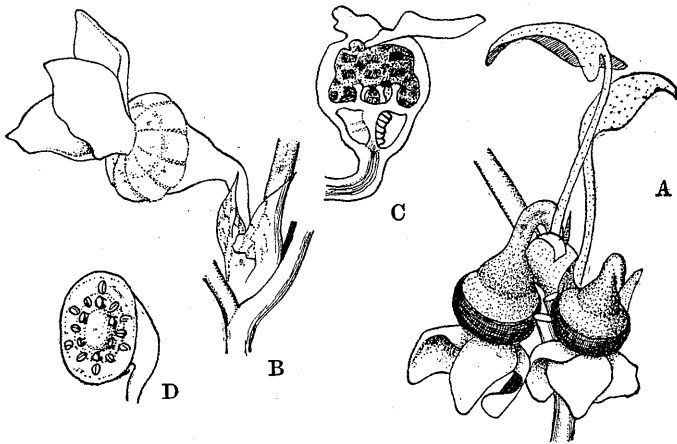


Fig. 4. こつぶあふひ
Heterotropa oblonga F. MAEKAWA.

4. こつぶあふひ *Heterotropa oblonga* F. MAEKAWA (前川學士檢定)

本種ハ前川學士ニ依ツテ、九州筑前國寶珠山ノ鍋島與市氏ノ採集品ニ付イテ植物學雜誌 XLVI, p. 575 (1932)ニ發表サレ、後本誌 IX, p. 370 (1933)ニ上記ノ學名ヲ付シテ新種トシテ發表ニナツタ物デ九州ニノミ知ラレテ居タノガ

Fig. 5. こつふあふひ *Heterotropa oblonga* F. MAEKAWA.

A. 二個ノ花ヲ着ケタモノ。B. 一個ノ花ヲ側面ヨリ見ル。C. 花ノ縦断面。D. 萼筒上半部ヲ除去シテ雌雄蕊ノ著生状態ヲ示ス。（林實原圖）

1934年ニナツテ生駒義博氏ガ本州伯耆國大山ニ産スルコトヲ報ゼラレタ（國立公園大山 p. 78, 1934）。筑前國ト伯耆國、虹ノ懸橋デモナカラウニ餘リ分布區域ガ離レテ居ルト思ツテ居タラ北出雲地方ニ産スル物ノ生品ヲ前川學士ニ見テ頂イタ結果本種デアル事ガ分ツテ來タ。北出雲デハ東ノ端カラ西ノ涯迄普ク山地丘陵地ノ稍々傾斜シタ樹蔭ニ産シテ居マス。本寫眞ノ標本ハ松江市津田區山地ニ 1935 年 4 月 2 日得タモノデスガ、尙私ハ 1931 年 4 月八東郡岩坂村屋上山デ多數ノ生品ヲ得テ當時種ノ決定ハ出來ナカッタガ一部ヲ標本ニ他ヲ解剖シテ下手ヲラモ見取圖ヲ他ニ第五圖ニ示ス様ナ解剖圖ヲ作ツテ居タノデ序ニ載セテ置キマセウ。圖デモ分ル様ニ萼筒ノ上部ガ甚シク縊レ近畿地方ニ分布スルみやこあふひニ近似シテ居マスガ 6 本ノ花柱ガ互ニ離レ立ツテ居ルノデ區別ガツク事ハ前川學士ヨリ御示教頂イタ處デアリマス。尙本種ハ北出雲ヨリ西南、石見地方ハ延ビ或ハ九州ヘト進ンデ居ルノデハナイカト思ハレマスガ今ノ處石見以西ハ未詳デス。

5. いはなし *Epigaea asiatica* MAXIM.

本種ハ本邦特産植物デ北海道ヨリ本州北中部ニカケテ分布シテ居マスガ小泉源一博士ニ依ルト此ノ分布南限ハ伯耆國大山デアルト申サレテ居マス。私モ先年同山デ本種ノ澤山自生シテ居ルノヲ觀察スル機會ヲ得マシタガ、今春（1935 年）不圖伯耆ノ西隣海抜 400 m. モアルカナシカノ出雲國能義郡赤屋村ヨリ廣江寅三君ガ根付ノ儘採集シテ來テクレマシタ。同君ハ小兒ガ好ンデ其ノ果實ヲ

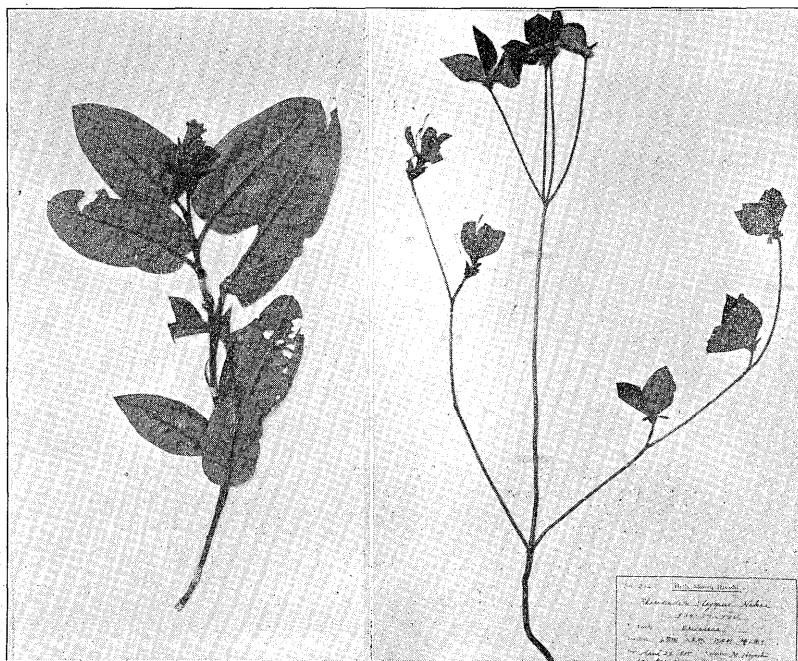


Fig. 5. いはなし
Epigaea asiatica MAXIM.

Fig. 7. だいせんみつばつつじ
Rhododendron lagopus NAKAI.

取ツテ食フト云フ様ナ事ヲ申シテ居マシタ。其處デ本種ノ南限ハ更ニ伯耆カラ出雲ヘト南下シタ事ニナリマス。尙一標本ハ京都帝大植物教室ヘ納メテキマシタ。

6. だいせんみつばつつじ *Rhododendron lagopus* NAKAI (大井學士檢定)

Type locality フ伯耆大山トスル本種モ別ニ珍シイ物デナイ事ガ近年ニナツテ明カニナツテ來マシタ。即チ因幡國ヲ始メ出雲・石見地方ニ廣ク分布スル事ガ分ツテ來タノデ御參考迄ニ此處ニ出雲八東郡乃木村デ 1935 年 4 月 27 日採集シタ物ヲ寫眞ニ撮リマシタ。

7. とげなしあざみ *Cirsium indefensum* KITAMURA.

本種ハ北村學士ガ植物分類地理 II, p. 119 (1933) ニ新種トシテ發表ニナツタモノデ、とげなしあざノ外ニ Type locality デアル出雲國大原郡木次町ノ名ヲ取ツテキスギあざミトモ同氏ハ呼ンデ居ラレル。出雲一圓ニ分布スル様デスガ何處ニデモ見ラレルト言フ譯デハナク丘陵等ノ森蔭、ト言ツテ光量ノ少イ森中ニハ無ク端ノ方ノ半陰半陽ノ地ニ稍群落ヲナシテ 1-2 m. 以上ノ莖ガ斜上シ



Fig. 8. とげなしあざみ
Cirsium indefensum KITAMURA.

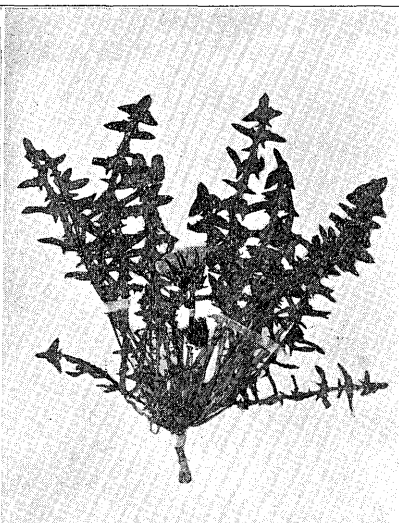


Fig. 9. くしばたんぽぽ
Taraxacum pectinatum KITAMURA.

テ居ルノハ壯觀デアリ開花中ハ中々美シイモノデスガ、カウシテ花ノ咲ク頃ニハ下葉既ニ落チ盡シ直径 2 cm. 餘ノ莖ヲ踏張ツテ居ル處ハ男性的ナ感じトモ言ヘマセウガ然シ棘モ少ク稍少形ノ花ヲ多ク着ケタ姿ハ何ト言ツテモ女性的デアリマス。本寫眞ハ松江城山デ 1935 年 10 月 6 日ニ撮ツタモノ満開ニハ未ダ間ガアリマスガ上ニ述ベタ斜上莖、花ノ多イ事、印刷ニシテハ不明トナレルデセウガ總苞片ノ反捲セス事等ガ一見シテ分リマセウ。尙本種ハ出雲ヨリ西ニ石見（ソノ東部迄確實）地方ニ及ンデ居マス。

8. くしばたんぽぽ *Taraxacum pectinatum* KITAMURA (北村學士檢定)

近年たんぽぽノ新種が続々ト發表ニナルノデ我々素人ニハ分リ惡イ物ニナツテ來マシタガ北出雲地方ニモ相當種類ガアル様デスケレドモ詳シイ事ハ分リマセンガ、松江市デハ白花たんぽぽノミ産シ郊外ヘ出ルト處々ニ黃花種ヲ見マスガ一般ニ貧弱デくしばたんぽぽ、くわんさいたんぽぽ等ガ主デアリマス。此ノくしばたんぽぽハ田代善太郎先生ノ備中デノ採集品ガ Type トシテ記載サレテ居マスガ未ダ寫眞ヤ圖デハ示サレテ居ナイ様デスカラ私が八東郡伊野村デ 1933 年 30 月 30 日採集シタ品ヲ寫眞デ紹介シマスガ、櫛齒狀ニ分裂シタ葉、花梗ガ葉ヨリ短イ等ノ特徴ガヨクオ分リノ事ト思ヒマス。

9. あづまねざさ *Pleioblastus chino* (FRANCH. et SAV.) MAKINO (京大檢定)



Fig. 10. あづまねざさ
Pleioblastus chino (FRANCH. et SAV.)
MAKINO.

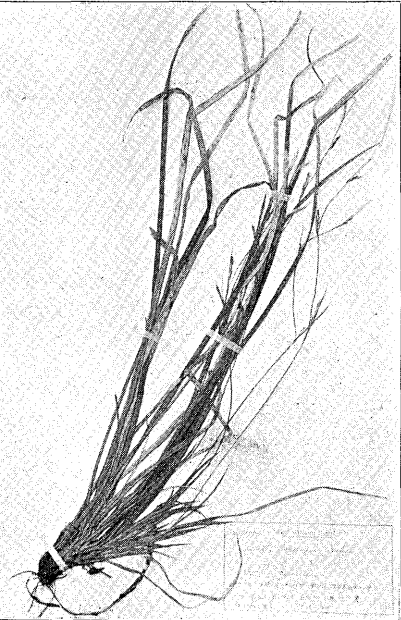


Fig. 11. だいせんすげ
Carex daisenensis NAKAI.

今春（1935 年）松江市近郊ノ丘陵地ニ多イ 0.3-1 m. ノ笹ガー齊ニ開花シタノデ未ダ笹ノ方ニ手ノ廻ラナイ私モ開花トアツテハ見捨テル譯ニモ行カズ早速採集シテ京大ヘ送ツタ結果ハあづまねざさナル由。シテ見ルト本誌 X, p. 29 ニ本種産地トシテ中井博士ノ記サレテ居ルノハ何レモ關東以北デスガ關西ニモ産スル事が明デアリマス。尤モ植物總覽ニハ本州（各部）トアルカラコンナ事ハ珍シクモナイ事カモシレナイガ序ニ松江産 4 月 27 日ノ標本ヲ御目ニ掛ケマス。

10. だいせんすげ *Carex daisenensis* NAKAI (大井學士檢定)

本種ニ就イテハ既ニ本誌 XI, p. 73 (1935) ニ吉野善介氏ガ伯耆大山ヨリ遠ク東、京都近ク迄分布スル事ヲ記サレテ居ルガ西方ハ何處マデ及ンデ居ルカ一言シテ置クノモ無益デハナイト一人決メシテ見マシク。即チ伯耆大山ヨリ西北出雲ヲ通り石見東部マデ産スル事が分ツテ來マシタガ實ハモツト西迄分布シテ居ルモノト思ハレマス。此處ニハ松山産 4 月 19 日 (1935) 採集ノモノヲ證品トシテ御披露致シマス。